

事務事業名	ごみ減量推進事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	終了
H29作成課等名	環境課	H29係等名	廃棄物対策係	H28担当課等名	環境課	
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			
	施策	56	廃棄物の減量と適正処理			
目的	対象(誰・何を)	市民、事業者			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	ごみ減量の必要性を認識して、焼却・埋立処分するごみの減量(リデュース、リユース、リサイクル)を実践してもらう。			飯田市の人口(人) ※9月末住民登録人口	103624
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t/年)		20896	21085	20562
	定性目標					
事業概要	レジ袋削減など、消費者活動の支援などで家庭から排出されるごみの減量化を推進するほか、ISO14001などの環境マネジメントシステムの普及促進による自主的な計画により事業所から排出されるごみの減量化を推進する。					
	1 家庭から排出されるごみの減量化の推進 2 事業所から排出されるごみの減量化の促進					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	1 家庭から排出されるごみの減量化の推進 (1) 買い物時の簡易包装の推進 ア 南信州レジ袋削減推進協議会等との連携 (2) 家庭から排出されるごみを減量する方法の研究 ア ごみの適正処理啓発市民ボランティアとの研究 2 事業所から排出されるごみの減量化の促進 (1) 南信州いいむす21等の環境マネジメントシステムに基づく自主的な計画による事業系一般廃棄物の減量			1 (1)ア(ア) 街頭啓発回数 (イ) レジ袋削減協力店舗数 (2)ア 研究会議開催数		1 (1)ア(ア) 1回 (イ) 73店舗 (2)ア 3回
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		0	0	0	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源						
人件費計(千円)②		358	554	715	0	
正規職員所要時間		100	155	200		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		358	554	715	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	ごみの適正処理啓発市民ボランティアによる継続的な活動等により、家庭から排出されるごみの適正化と減量化が推進された。					
改革改善の考え方	①問題点	南信州レジ袋削減推進協議会では、事業者、消費者、行政の協働によりレジ袋の削減に取り組んでおり、これまでに一定の成果をあげている。今後も「レジ袋辞退率95%以上」を目指し、さらなる取組みを行う必要がある。				
	②改革提案	飯田市では、当協議会の方針である「レジ袋辞退率95%以上」に基づき、継続して取組を行う。ごみの適正処理啓発市民ボランティアのさらなる活動の促進を図るため、会員を募集していく。				